

令和6年度 第2回川口市図書館・映像・情報メディアセンター運営審議会
会議録

日 時 令和7年1月22日（水） 午後2時00分～午後3時00分

会 場 キュポ・ラ本館 7階
メディアセブン プレゼンテーションスタジオ

審議参加者 【委 員】江田由佳、増淵久美子、沼口弘、鈴木和子、江連俊隆、
新井梓、木村利充、宮田郁実、海老原和江、高橋義樹、片倉有
紀、吉野浩一

【事務局】秋葉教育総務部長、高野中央図書館長、上野中央図書
館副館長、萩原前川図書館長、田口新郷図書館長、川野横曽根
図書館長、高野戸塚図書館長、渡部鳩ヶ谷図書館長、中央図書
館小林庶務係長、宮崎サービス第1係長、増田サービス第2係
長、本山副主幹、茂出木主査

欠 席 者 【委 員】山野栄三郎、竹本佳標、大上恭子

議 題

ア 令和6年度図書館及び映像・情報メディアセンターの利用状況と事業報告
について

イ 図書館業務補助委託について

ウ 中央図書館特定天井・照明改修工事について

エ その他

1 開会

2 議長選出、会議成立の宣言と会議録署名委員の指名

川口市図書館・映像・情報メディアセンター運営審議会条例第7条第1項により会長が議長となった。

議長は、川口市図書館・映像・情報メディアセンター運営審議会条例第7条第2項により定足数を満たしたことにより、会議の成立を宣言するとともに、川口市図書館・映像・情報メディアセンター運営審議会規則第4条第2項により会議録署名人として増淵副会長を指名した。

また、「川口市附属機関等の会議公開に関する要綱」の規定に基づき、この会議は公開である旨を宣言し、傍聴人が1名いることを報告し、委員の了承を得て傍聴人を入場させた後、議事を開始した。

3 議事

○ 議題アについて、資料1に基づく

[意見・質問と回答]

委員

メディアセンターの利用状況について。「利用したい施設が利用したい時間帯に空いていない、抽選にも落ちてしまう。」ということをよく聞く。稼働状況・倍率はどうか。また、使いたい人が使える状況になっているのか。あるいは、ほとんど空いている時間帯が多いのか。

事務局

メディアセブンについては、抽選ではなく先着順での受付である。そのため、使用したい時間帯が空いておらず、断念された方がどれくらいいるのかは、数字として出てこない。利用状況としては、各時間帯のコマ数で、100%使用されていることはあまりなく、また、部屋によりばらつきがある。このプレゼンテーションスタジオやコミュニケーションスタジオのように、比較的大きな部屋については利用が多い傾向があるが、ミーティングルームA・Bのような8人程度が使用可能な小規模な部屋については、利用が少ない傾向がある。

委員

資料3頁の所蔵数について、例えば各図書館での現在の所蔵数が記載されているが、図書館の所蔵のキャパシティはどれくらいか。まだ、受入に余裕があるのか、すでに現時点で満杯に近いのか、受け入れるものと除籍するものとバランスを見ながら行っているのか、教えていただきたい。

事務局

各館の所蔵数については、基本的には、新しく資料を受け入れつつ併せて除籍を行っている。中央図書館については、機械書庫にまだ余裕がある。また、横曽根図書館については、現在建築中の新しい建物に資料を移す関係から資料を見直し中であり、今年度は除籍を多めに行っている。

委員

資料3頁の図書・視聴覚資料の受入について、受入れない場合の条件はあるの

か、それとも100%受入をしているのか。

事務局

資料にある受入れについては、購入したものと、市民や出版社から寄贈されたものがある。寄贈については、基本的には「郷土資料等、川口市に関するもの」を受入れている。他に、予約が続いている書籍等が寄贈された場合にも、受入れを行っている。スペースの関係や貸出可能にするための装備をしなければならないので、こうした書籍等を優先している。

委 員

資料2頁の「2 貸出数」だが、小学校・中学校への団体貸出はこの資料に含まれているのか。現在、学校貸出の冊数はどのくらいか。分かる範囲で構わないので教えて欲しい。

事務局

こちらは個人貸出の数字となっているので、団体の貸出数は含まれていない。こちらの資料で団体貸出数は数字を出していないため、今、お答えすることはできないが、年度統計では出している。

委 員

前川図書館のおさなごのお話し会で、曜日を変えて赤ちゃんの参加を受入れていると聞いたが、その状況について伺いたい。

事務局

わらべうたの開催状況については、前年度は土曜日の午前中開催であり、0歳や1歳の赤ちゃんについてはお断りしていた状況であった。当時の参加者数は、1回あたり1、2組程度であり、まったく参加のない時もあった。今年度に入り4月から1、2歳児を対象に実施したところ、毎回、8～10組の参加があり、参加者が激増した。

委員

前川図書館のおはなし会については、自宅から一番近く、また自宅に乳児がいることからよく利用している。毎回、好評なようで、おさなごのクリスマス

会も早い時期に定員に達し受付が終了したようで、参加できなかった。横曽根図書館のクリスマスおはなし会に参加したが、楽しかった。

委員

1 頁の利用数にもあるが、児童数が減少しているということについて、危機感がある。例えば、横曽根図書館で行っているおはなし会では、幼児は親子連れでの参加が多いが小学生の参加がないので、疑問に思っていたが、保護者の話を聞く機会があった際「参加の意思はあるが、土日は子どもの習い事があり、参加が難しい」という話を伺った。小学生の習い事がない時間帯に変更してみようかと検討もしているが、現在は、図書館へ子どもが1人で来ることが難しい時代となっていることも原因ではないか。小学校におはなし会として訪れた際、図書館でのおはなし会への参加を呼び掛けてみたが、子どもから「親が連れてきてくれないと、来られない」という話しも聞いている。

また、資料12頁にある「中学生から大人向けのおはなし会」という事業を、中学生以上を対象に昨年度行ってみたところ、15名の参加があった。図書館の新しい試みとして、大人に向けたおはなし会を定期的で開催できないか。図書館に行くきっかけになるのではないか。

特に横曽根図書館は、新しくなることから、目玉として、小学校高学年から大人まで楽しめるおはなし会が開催できるといいのではないか。

委員

地域図書館の会議室が空いているときは、生涯学習の場として朗読や親子の会等が使用できるようになればよいと考えている。

委員

おはなしの会に関わっているが、子どもと一緒に保護者も楽しんでくれており、最近は父親の参加が多い。また、幼児から参加していた子どもが小学生になった後も引き続き参加してくれているように感じる。小学生で参加している子どもは、幼児の頃からわらべうたや本に親しんでいる方が多い。小さいころからの体験がつながっていると、現場では感じている。赤ちゃんから門戸を開いて、子どもと保護者が一緒に楽しめる会ができればと思っている。

委員

資料 8 頁以降の主催事業について。回数と参加者とあるが、参加者はのべ人数ということか。回数については、内容として連続して行っているのか。同じ参加者が数回、参加しているのか。

事務局

参加者はのべ人数である。回数については、「おはなし会」は、各回独立して実施しており、基本的に当日予約等なく参加してもらっている。「音訳奉仕者研修会」「点訳奉仕研修会」は事前に募集し、定員を定めて実施している。1 年間を通して同じ方に参加してもらうものである。参加者数はこの 2 つについても、のべ人数となっている。

委員

資料について、前川図書館や横曽根図書館のことを聞いていて感じたが、主催事業の曜日と時間帯を記載してはどうか。

日付のところに曜日と時間帯、午前何回・午後何回、夕方、夜間なのか等を記載してもらいたい。その方がイメージが湧きやすいと感じた。次回以降の資料として検討して欲しい。

委員

資料 9 頁、中央図書館の主催事業で「館内見学」とあり、市内の小・中学校、高校が参加しているようだが、この「館内見学」ではどのようなことを行っているのか。おはなし会は行っているのか。

事務局

中央図書館で実施している「館内見学」は、社会科見学が非常に多い。図書館開館前の 9 時から 10 時の限られた時間に実施している。特に小学 3 年生が多く、施設の案内をメインとした見学を行っている。50 分と限られた時間での実施のため、おはなし会の実施は行っていない。ただ、見学の際、おはなし会の周知は行っており、見学を機におはなし会に参加してくれる小学生もいる。

委員

図書館の利用について。図書の貸出以外に、座席の貸出があると思う。本を読む座席や、中央図書館だと社会人席があるが、例えば社会人席はそこで本を読むというよりは、パソコン作業を行う、電子機器を使用するといった利用があるかと思う。また、この社会人席は常に埋まっていることが多いように感じる。現状の使用状況や利用者が求めているもの等ニーズの把握、今後の方針は何かあるのか。

事務局

中央図書館については、学習席、社会人席、パソコン専用席、図書館資料専用席がある。このなかで図書館資料専用席は自由に利用できるが、社会人席、パソコン専用席は申込制となっている。機械で予約を行うが、1日をいくつかの枠に分けており、最大2時間55分の枠となっている。また、次の予約者がいなければ、延長もできる。

平日は、空席もあるが、土日や、学生の試験期間中には学習席は混雑している。そのため、社会人も利用可能なよう、社会人席を設けている。パソコン専用席は、キータッチ音が気になる方もいるため、パソコンや電卓の使用が可能な専用の席を設けている。

ニーズの把握だが、時期的なものもあるため、例えば、学習席は、試験期間中の利用が多いことから、1週間前から土日の学習席を予約可能としている。予約の時点である程度埋まってしまい、延長ができない場合もある。平日については、昼間は空席もあるが、学生や社会人の利用者が図書館に来館可能な時間帯は、社会人席・学習席が満席になっていることもある。時間帯や、時期にもより利用状況が異なっており、運用もこのように状況に応じて行っている。

他に意見・質問なし

○ 議題イについて、 資料 2 に基づく
[意見・質問と回答]
意見・質問なし

○ 議題ウについて 資料 4 に基づく
[意見・質問と回答]
意見・質問なし

○ 議題エについて
事務局から報告事項なし

[その他の意見・質問と回答]

委員

資料1について。学校は働き方改革により、特に下校時間が早くなった中学校が多い。そのため、朝読書の時間をなくしている学校もある。そのようななか、横曽根図書館で、中学生から大人向けのおはなし会を実施していると聞き、とてもありがたく感じた。現在の中学生は忙しいので、地域の図書館に足を運ぶことは難しいところではあるが、図書館でこのような機会を設けていることはとてもありがたく思う。

委員

図書館と教育委員会が連携して、学校へおはなしを届ける活動を進めてくれればと思う。中学生や高校生はあまり、おはなしを聞かない年代と思われるが、むしろ、中学生や高校生だからこそ、聞けるおはなしもあるので、声をかけてもらえれば中学や高校に出向いておはなし会を行います。

他に意見・質問なし

以上

令和7年1月22日

川口市図書館・映像・情報メディアセンター運営審議会

議 長

会議録署名人